

情報公開用文書

西暦 2024 年 10 月 08 日作成 第 1 版

実施内容	ノバミン筋注の静脈内投与
対象患者	吐き気により内服が難しく、吐き気止めの注射薬を必要とする患者さん
実施期間	承認日～永続的に使用（適応症が追加されるまで）
概要	【目的・意義】 がん患者さんは、病状の悪化や抗がん剤の副作用によって、吐き気を催すことがあります。また、手術後にも吐き気を催すことがあります。 「ノバミン筋注」という薬剤は吐き気の治療によく使用される薬ですが、日本では、筋肉内注射しか認められていません。 手術後や食欲不振などで著しく体重が減少された場合には、筋肉内注射は刺激が強く、吐き気の治療が困難となる可能性があります。また、筋肉内注射は痛みを伴います。 「がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン」には、ノバミン筋注を静脈内投与することで吐き気の改善に効果があると記載されており、ノバミンの静脈内投与は、国内の多くの医療機関でも使用されている方法です。 【予想される不利益と対策】 静脈内投与は、筋肉注射より投与後の血中濃度が急激に上昇しやすいといわれています。そのため、副作用が出現する可能性が高くなるかもしれません。副作用が出現した場合には投与を中止し、症状に応じて治療を行います。
当院の未承認新規医薬品等を評価する委員会において承認を受けた上記の治療について、対象者となられる方から同意をいただくことにかえて、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。 本件について同意できない場合、この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。 なお、同意できないと連絡をいただいた場合においても、添付文書の定める範囲内での使用では安全に医療を提供できないと担当医が判断したとき、再度ご説明させていただくことがあります。	
問合せ先および適応外使用を拒否する場合の連絡先：〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 番地 静岡県立静岡がんセンター RMQC 室（医療の質・安全管理室） 電話番号：055-989-5222（代表） または、担当医に直接お申し出ください。	